

ナルデメジンの当院における使用状況についての研究

当院ではナルデメジン（スインプロイク錠）の処方された患者さんの背景、有用性等についての検討を行っています。

<本研究の背景・目的>

オピオイド鎮痛薬は、特にがんの痛みの鎮痛薬として多くの患者さんに使用されております。その一方で副作用に悩まされることもあり、オピオイド鎮痛薬による「便秘」は高い頻度で生じ、継続的な便秘対策のお薬を服用するなどの対策が必要となります。2017年6月に既存の緩下剤とは異なる効き方をするお薬「スインプロイク錠0.2mg（ナルデメジン）」が発売されました。2017年9月より、当院でも取り扱いが可能となり、オピオイド鎮痛薬による便秘に悩む患者さんに処方されております。

今回、診療録を用いて当院におけるナルデメジンの使用状況を患者さんの背景や有効性から把握するとともに、当院における今後の課題を検討します。

<対象となる患者さん>

当院において、ナルデメジン（スインプロイク錠）が2017年9月21日から2018年7月31日までに新規処方された患者さん。

<調査方法>

・利用する情報源

診療録から下記の調査項目に該当する過去の記録を調査します。患者さんへの新たな負担はありません。

・調査項目

①ナルデメジン導入前 年齢、性別、原疾患、腎機能、定時オピオイドの種類および経口モルヒネ換算用量、下剤の併用の有無、導入となった経緯、最終排便からの日数、排便回数。

②ナルデメジン導入後 服用後の初回排便までの日数、排便回数、下剤の調節、下痢発症の有無、入院後で導入となった場合の転帰（退院、転院、死亡、入院継続）、服用中止となった理由。

<個人情報の取り扱い>

利用する情報は匿名処理をおこなっており、研究対象者の患者さんを直接特定できる個人情報は利用しません。また、研究結果は個人が特定できない形式にて学会等で発表を予定しております。

<研究の方法>

この研究は、当院の臨床研究審査委員会の承認をもとに調査を行います。国が定めた指針に基づき、口頭や文書による各患者様への同意は得ておりません。対象患者さん・関係者の方が診療情報の利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡・ご相談ください。

<問い合わせ先>

研究責任者： 薬局 伊豫田 智子

研究に関する問い合わせ先：

〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町五所合3-1

Tel 0564-21-8111 Fax 0564-25-2913